

丹生官省符神社石段

慈尊院と丹生官省符神社（および高野山へと続く町石道の起点）を繋ぐ長い石段の両脇には古い桜の木が生えています。119という割り切れない石段の数は、生涯を通しての成長を象徴しています。

最初の12段は1748年に造られ、数多くの参拝者の寄付によってその上の段が主に1753年に造られました。石段の上の方にある鳥居と大きな石灯ろうは、丹生官省符神社の前身の猿田彦神社が洪水で被害を受けた後、避難のためにここへ運ばれました。

町石道の起点を示す180町石は、石段を登る途中にある大きな石の鳥居のすぐ前に置かれています。